紫峰の風
shihou no kaze

筑波大学 University of Tsukuba

第26号 2022年12月

『紫峰の風』は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへとお届けする」という意味が込められております。

芸術祭フリーマーケット

珈琲・俺

筑波大学紫峰会基金援助金目録贈呈

サイリウムダンスサークル

学園祭を終えて

今年度の雙峰祭は、実に3年ぶりとなる対面開催と昨年に引き続くオンライン開催を組み合わせた、新しい試みでございました。コロナ禍という長く苦しい時間を超えて、再びつくばの地に帰ってこられましたこと、そしてその熱気を多くの方にお届けすることができましたこと、誠に幸甚に存じます。一度途絶えかけた伝統を取り戻すため、手探りのような状況の中、全力の限りを尽くし進み続けて参りました。こうして無事、雙峰祭を終えることができましたのは、企画団体の方々、大学関係者の方々、雙峰祭にご参加いただいた方々、そして何より筑波大学紫峰会基金を通して日々ご支援いただいております皆様のお力添えあってのものでございます。学園祭実行委員会の長として、そして一人の学生として、皆様の厚いご支援に深く御礼申し上げます。

来年度は雙峰祭完全復活を目指して、より多くの方々にお楽しみいただけるよう誠心誠意取り組んでいく所存でございます。今後とも弊委員会及び筑波大学学園祭「雙峰祭」をよろしくお願いいたします。

（寄稿／令和4年度筑波大学学園祭実行委員会委員長
青木颯汰・工学システム学類2年）

ー内容ー

キャンパスニュース、就職活動を終えて
紫峰ギャラリー 1頁
筑波大学の就職支援、Editors'2022、特別援助金報告、学生相談室から、桐の葉日記、筑波大学紫峰会基金運営委員会の報告 2頁
特集、芸サ連、体育会活動紹介 3頁
全代会、文サ連、医学部会紹介、企画、学生の一週間 4頁

今後の主な予定(変更になる場合があります)

秋ABモジュール期末試験	12月22～28日
冬季休業	12月29日～1月5日
同(東京キャンパス・夜間)	12月29日～1月4日
秋ABCモジュール期末試験	2月8日～14日
同(東京キャンパス・夜間)	1月24、27、28日、2月1、2日
秋Cモジュール期末試験	2月15、16日
秋学期授業終了	2月14日
同(東京キャンパス・夜間)	1月26日
期末試験予備日	2月15、16日
同(東京キャンパス・夜間)	1月31日、2月3日
春季休業	2月17日～3月31日
同(東京キャンパス・夜間)	2月4日～3月31日
卒業式・大学院学位記授与式	3月24日
同(東京キャンパス・夜間)	3月25日

キャンパスニュース

地理愛好会

つくばマッスルファイブ

T-Celt

オセロサークルMiN2

TSUKUBA COLLECTION 2022 グランプリ受賞者

書道部

池坊華道部

フォルクローレ愛好会

津軽三味線倶楽部無絃塾

混声合唱団

後夜祭花火

LALAガーデンつくば感謝祭

10月16日、LALAガーデンつくばの１階プラザ広場において、本学のピアノ愛好会、ときめき太鼓塾、吹奏楽団がそれぞれ演奏を披露しました。LALAガーデンつくばは、同日20時の閉館に際して10月１日から「LALAガーデンつくば感謝祭」を開催しており、週末には地元の児童や学生が様々な発表を行いました。本学の３団体による発表は、その最終日のイベントでした。閉館当日とあって館内は多くの買い物客で賑わっており、それぞれの団体がステージに上がると、１階の広場周辺だけでなく、吹き抜けの２階まで人だかりができました。美しいピアノや、迫力ある太鼓、楽しい吹奏楽の演奏に館内は盛り上がり、その最後の日を彩る発表となりました。

（文責／広報部会　村松真緒・社会学類４年）

ピアノ愛好会、ときめき太鼓塾、吹奏楽団演奏の様子

大学公認サイクル販売と放置自転車対策が始動

「CycleChic Tsukuba」（つくば市桜2-15-5）は筑波大学「公認サイクル」を販売するサイクルショップとして本年６月21日オープン致しました。本学学生にとって重要な移動手段である自転車を活用してアクティブで楽しいキャンパスライフを送ることができるように、誰でも気軽に立ち寄れる店舗づくりを目指しました。お陰様で学生主催のイベントに店舗を活用したり、地域の皆様にも多数ご来店を頂くなど大変ご好評を頂いております。是非保護者の皆様にも遊びに来ていただければ嬉しく思います。また、当店は筑波大学の重要な課題の一つである「放置自転車削減」にも積極的に取り組みます。年間約1,000台にものぼる放置自転車をリサイクルし改めて学生や地域の皆様にサブスク（月次定額貸出し）にて提供する実証実験に複数年をかけて取り組む所存です。末永くご愛顧賜りますようお願い致します。

カラフルな大学公認サイクル全６色

コロナ感染対策物品の支援

筑波大学紫峰会基金は、三系（体育会、文サ連、芸サ連）運営委員長からコロナ感染対策に必要な物品の要望を受けて、8月10日、課外活動団体（約134団体）へ感染対策物品（消毒液等）を支援いたしました。これを受けて、各課外活動団体は更なる対策を講じて活動に励んでおります。

就職活動を終えて

理工情報生命学術院　生命地球科学研究群
生物資源科学学位プログラム 博士前期2年
岡野 凌平

■**職種**：公務員（茨城県職員）
■**所属サークル**：なし
■**就職活動期間**：2021年4月～2022年8月
■**就職先を決めた判断材料**：
幼少期からの茨城県内で働きたいという考えや生物が好きであることを踏まえ、大学受験の時点で「大学院で経験と知識を得たうえで農業職の公務員になる」というプランを立てていました。志望先を実際に決める段階で県内の自治体の募集を調べたところ、農業職を募集している市町村が少ないことが分かりました。
それに加え、県職員の業務について調べた際にとても魅力的に感じたため、県職員を目指すと決めました。
■**就職活動中に心がけたこと**：
茨城県の場合、一次試験のうち教養試験は必答20問に加えて30問から20問を選んで回答するという形式なので、一次試験への対策をするうえで「解かない問題」選びを意識をしました。それに加えて、時間内にできるだけ多くの問題を解くために「試験中に捨てる問題」の選び方も意識しました。また、面接対策として茨城県内のニュースのチェックを習慣づけました。その甲斐あって、面接本番では「農業に関する、最近気になっているトピック」を聞かれた際に、数日前に新聞に載った県のプロジェクトについて言及することができました。
■**大学生活で就職活動中役に立ったこと**：
先生方に専門試験の勉強方法などを相談できたこと、就職課での個別キャリア相談がとても役立ちました。特に個別キャリア相談では、二次試験対策のあらゆる点でご支援いただきました。面接票に書くべきことを指導していただいたり、一次面接（10分）と二次面接（30分）のそれぞれに対して本番と同じ長さで面接練習をさせていただいたりしたことで、本番でも迷わず回答でき、二次試験合格の決め手になったと思います。
■**就職活動で学んだこと**：
理系であっても文系科目は疎かにできないこと、ローカルニュースを調べる際は地方紙に目を通すことが重要であることを学びました。
■**何社受けて何社受かったか**：
茨城県職員のみを受験し、合格しました。
■**新型コロナウィルス感染拡大に伴い、留意したこと**：
帰宅後の手洗いうがい、手指の頻繁な消毒、健康的な食事を心がけて感染しないよう努めました。
■**後輩に一言**：
公務員を志望する場合、かなり広い分野の勉強が必要になります。過去問や予想問題を一旦解いてみて得意・不得意を把握し、自分に合った勉強法を編み出すとよいと思います（私の場合は実践的な問題演習よりも教科書・参考書を読んで知識面に重点を置きました）。長期間勉強し続けるのは大変ですが頑張った分合格に近づくので、皆さんにもベストを尽くして合格してほしいと思います。
■**保護者に伝えたいこと**：
県職員採用試験を受験するにあたって様々な形でご支援いただいたことに感謝します。
特に筆記試験対策の教材や面接対策に役立つサイト・動画を探して共有して頂いたことは合格に不可欠でした。
加えて、大学院まで学費や生活費の面倒を見ていただいたことにも深く感謝いたします。

理工学群
応用理工学類 4年
興梠（コウロギ）　陸

■**職種**：化学品メーカー
■**所属サークル**：鹿島神流武道部
■**就職活動期間**：2022年2月～2022年7月
■**就職先を決めた判断材料**：
業界の中でも技術を売りにしている＋年間休日・給料がそこそこ良い（求人通りならば）
■**就職活動中に心がけたこと**：
なぜ・何のために働くのかということを考えて、受ける企業にしっかりと優先順をつけること。気持ちを張り詰めるのではなく、深刻にならないように「就活しんどいよ～」と他の人に軽く愚痴れる程度には心に遊びを持たせること。一方で、下手に余裕がありすぎると際限なくだらけることは分かっていたため、現状の把握については常に怠らずにしておくこと。特に一度選考通過の連絡に気づかなかったことがあったが、私は周囲に就職活動をしている人間がおらず、基本的に自分が頼りだったこともあったため、その後は同じ失敗を繰り返さないようにマメに状況を確認することを心がけた。
■**大学生活で就職活動中役に立ったこと**：
部活で学外のOBや産総研の方と関わりがあり、人と初めて絡むことに抵抗が無かったこと。元々そういった気質はあったが、周りの人の影響でテンプレート的なことではなく、自分の興味だったり快・不快で判断するようになったこと。
■**就職活動で学んだこと**：
元から脳と口の間のフィルターが粗く、思ったことをそのまま口に出すことが多かったが、下手に取り繕ってありきたりなことを話すのは良くないもののある程度話す言葉や内容は吟味してから口に出すべきということ。また、自分の「したいこと・やってきたこと・できること」について深く考える機会になった。
■**何社受けて何社受かったか**：
3/15
■**新型コロナウィルス感染拡大に伴い、留意したこと**：
特になし。面接も基本はオンライン。対面でもマスクのまま仕切りや距離をとって行っていたため特別考えることは無かった。移動は基本的に電車だったが、仕方のないことだったため考えなかった。
■**後輩に一言**：
大学に入学して、形はどうであれ、大学生活を送って来た事実があるのですからその中で得たことだったり、実際に就活を通じて感じたことを信用してください。1/1で就活終了なんてことはほぼ100%あり得ないと思います。時には運ゲーだから仕方ないと開き直ることも大事です。今不安に思っている人もいるかも知れませんが、大体なんとかなるのでそう焦らずに研究・就活・院試などがない今のうちにやりたいことをやっておいて大事なところで変な心残りが無いように過ごしてください。
■**保護者に伝えたいこと**：
これまでなんだかんだで好きにさせてもらって大学まで通わせてもらいました。唐突に大学院に進まず就職する、と言い出し、困惑させたりもしました。大学でも「俺は親の脛を齧れるだけ齧る」とバイトもせずに好き勝手やらせてもらいました。ひとまず扶養から外れる訳ですが、今まで散々迷惑をかけてきた分、返せるように頑張ります。とりあえずは分割で。

令和4年度筑波大学卒業式・学位記授与式（9月期）

9月22日、令和4年度筑波大学卒業式・学位記授与式が大学会館講堂で挙行されました。
新型コロナウイルス感染症対策として、式典の出席者は卒業生・大学院学位授与者のみとなりました。

学長式辞

令和4年度筑波大学秋学期入学式

9月30日、令和4年度筑波大学秋学期入学式が大学会館講堂で挙行されました。
新型コロナウイルス感染症対策として、式典の出席者は新入生のみとなりました。

式場の様子

紫峰ギャラリー

こちらのコーナーでは、課外活動団体の日々の活動の様子を掲載します。今回は、文化系サークル連合会より天文研究会、つくば鳥人間の会を紹介します。

オリオン座三つ星

機体組み立ての様子

天体観測の様子

紫峰会基金に寄附してくださった皆さまへ

新型コロナウイルス感染症の対策対処中にもかかわらず、多くのご寄附をいただきありがとうございます。皆さまからいただいたご寄附の全額を課外活動団体援助金等として使用させていただいております。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をより充実させることができました。現在課外活動は、通常通りの運営はままならないながらも、出来得る限りの感染対策の徹底と注意喚起を講じながら精一杯取り組んでいます。今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いします。

課外活動団体一同

就職特集　令和3年度卒業生・修了生進路状況及びキャリア形成支援について　学生部就職課

令和３年度の学群卒業生数は、2,286人でした。うち989人（43.3％）が大学院へ進学、1,074人（47.0％）が就職（研修医含む）、223人（9.8％）がその他（資格・採用試験準備等、帰国）でした。詳細は、「卒業者・修了者の進路状況」をご参照ください。

筑波大学では、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（以下、DACセンター）と学生部就職課が連携し、キャリア形成支援活動をしています。本学のキャリア支援体制を充実・発展させるため、各教育組織と有機的に連携し支援環境やネットワーク構築を行い、きめ細やかな学生支援を目指しています。学群１年生を対象としたファーストイヤーセミナーや学士基盤科目「キャリアデザイン入門～世界にはばたく未来の自分～」を通じて、大学生活を積極的かつ有意義に過ごし、その後の人生設計（キャリア・デザイン）の基礎作りに寄与しています。また、大学院生に対しては大学院共通科目「博士のキャリアパス」を開設し、ロールモデルとなる方を講師に呼び、自分の未来を切り拓くヒントとなるような授業を行っています。

令和３年度の教員・公務員に関しては、公立学校教員採用試験が６月下旬から実施され、令和３年度卒業生のうち教員就職者は49人（就職者の5.3％）でした。

また、令和３年度の公務員採用試験の日程は、国家公務員については延期された令和２年度から、コロナ禍前の従来の日程に戻り、国家総合職が４月下旬、一般職が６月中旬に実施されました。地方公務員試験は、国家公務員採用試験と同様に、令和２年度に延期された東京都と特別区の試験もコロナ禍前の従来の日程に戻り、６月下旬以降に順次実施されました。令和３年度の卒業生のうち公務員（独法等も含む）就職者は126人（就職者の13.5％）でした。就職課では、試験対策として、資格取得支援予備校の公務員試験対策講座を学内で開講し、面接試験に向けた個別支援も行いました。多様な人材を確保するために、公務員試験においても人物試験の比重が高くなっています。さらに、筆記試験がない、あるいは企業と同様の試験形式を取り入れる自治体も増加傾向にあります。

就職の動向について

例年３月に入り新卒採用の広報解禁で採用活動が本格化しますが、令和２年の春先から新型コロナウイルス流行の影響により、企業の採用活動（会社説明会や面接など）のオンライン化が広がりました。一方で、役員面接等の最終選考については、従来通り対面形式で実施する企業も増加している傾向にあります。

DACセンター／就職課も、コロナ禍が本格的に始まった令和２年度当初から個別キャリア相談や学内合同企業説明会などの各種就職ガイダンスをオンライン化して対策し、学生への支援を止めないことを最重要課題として取り組んできました。学生部就職課ホームページ（https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/）では、就職活動に関する情報やイベントの情報を継続的に伝えています。

社会状況が目まぐるしく変化する予測困難な現代社会においては、就職を取り巻く環境も絶えず変化していますので、興味を持った企業の採用サイトや就職情報サイトの企業ページを確認するなど、自ら情報を取りに行くことが重要となります。教員・公務員の試験に関しても、同様です。適切に情報収集を行い、準備を進めることが就職活動を乗り切る鍵になってきます。このように、就職を取り巻く環境の変化はありますが、学生の就職活動準備として、経験の棚卸しや自身の強みなどを把握する自己分析、また業界・企業の研究を行うことの重要性はこれまでと変わりません。DACセンター／就職課は、学生本人が納得のできる就職活動をできるよう、中長期的な視点に立ったキャリア形成支援を引き続き行っていきます。

キャリア支援の取組

<キャリア形成支援>

DACセンター／就職課では、授業やイベント、各種情報提供、個別キャリア相談などを通じて、学生が自分自身について考えながら社会について視野を広げ、将来に向けて具体的な準備を進めていけるようサポートしています。最新情報や詳細はホームページ（https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/）にて発信しています。

<個別キャリア相談>

学生の皆さんの就職活動や進路選択をサポートするために、経験豊富な相談員による個別相談も行っています。将来のことや進路選択（進学するか就職するか、留学するか、インターンシップに参加するかなど）、キャリア・就職に関することなら、学年を問わずどんなことでも相談可能です。

現在オンラインで相談を実施しています（1回45分間）。
不安を少しでも解消できるようにサポートしています。

オンラインで行われる個別キャリア相談の様子

個別キャリア相談は、オンラインで簡単に予約ができます。

https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/?page_id=301

若手研究者のためのwebサロンシステムPhD×FUTURE.を運用しています

2021年10月に運用を開始したPhD×FUTURE.は、産業界で働くことに興味関心のある筑波大学の若手研究者と、博士人材の雇用に取り組む企業・団体の出会いの場を創出するシステムです。

DACセンター/就職課は本システムを始めとして、毎月開催しているオンラインイベント等によって、博士人材のキャリア開拓支援にも力を入れて取り組んでいます。

※若手研究者とは「博士学位取得予定者」のことです。

若手研究者のためのwebサロンシステム
PhD×FUTURE.
ピーエイチディーフューチャー
https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/phd-future/

令和３年度卒業者・修了者の進路状況

学群・学類

学群・学類		卒業者	進学者	就職者	就職者の内訳					その他	
					企業	教員	公務員	独法等	研修医	研究生等・留学	資格・試験等準備 他
人文・文化学群	人文学類	117 (47)	17 (10)	85 (32)	64 (26)	4	12 (5)	5 (1)			15 (5)
	比較文化学類	87 (60) [1]	14 (6) [1]	65 (50)	58 (46)	2 (1)	5 (3)				8 (4)
	日本語・日本文化学類	45 (35) [3] 〈2〉	3 (2)	37 (29) [2] 〈1〉	24 (21) [2] 〈1〉	4 (2)	9 (6)				5 (4) [1] 〈1〉
社会・国際学群	社会学類	91 (39) [8] 〈7〉	9 (5)	61 (23) [2] 〈1〉	51 (17) [2] 〈1〉		6 (4)	4 (2)			21 (11) [6] 〈6〉
	国際総合学類	107 (70) [12] 〈10〉	21 (15) [3] 〈3〉	69 (45) [2] 〈2〉	60 (40) [1] 〈1〉	2 (1) [1] 〈1〉	7 (4)			1 (1)	16 (9) [7] 〈5〉
人間学群	教育学類	36 (19) [1] 〈1〉	9 (5) [1] 〈1〉	24 (12)	13 (6)	7 (3)	4 (3)				3 (2)
	心理学類	57 (33) [2] 〈1〉	15 (9)	37 (23)	31 (21)		6 (2)				5 (1) [2] 〈1〉
	障害科学類	40 (25) [1] 〈1〉	11 (4) [1] 〈1〉	21 (16)	12 (7)	3 (3)	6 (6)				8 (5)
生命環境学群	生物学類	86 (43) [11] 〈7〉	64 (30) [5] 〈2〉	12 (7)	9 (6)	1	1	1 (1)			10 (6) [6] 〈5〉
	生物資源学類	159 (85) [19] 〈9〉	110 (56) [10] 〈4〉	35 (24) [3] 〈3〉	29 (20) [3] 〈3〉		5 (3)	1 (1)			14 (5) [6] 〈2〉
	地球学類	50 (14) [3]	36 (10) [1]	9 (4)	7 (4)		2				5 [2]
理工学群	数学類	41 (3)	21 (1)	17 (2)	10 (2)	7					3
	物理学類	59 (10) [1]	38 (7) [1]	15 (3)	10 (1)	2 (1)	3 (1)				6
	化学類	53 (20) [1] 〈1〉	43 (14)	5 (3)	5 (3)						5 (3) [1] 〈1〉
	応用理工学類	131 (18) [4]	117 (18) [4]	12	9		3				2
	工学ｼｽﾃﾑ学類	138 (12) [4]	119 (10) [2]	10 (2)	10 (2)						9 [2]
	社会工学類	121 (36)	82 (22)	35 (14)	32 (13)		3 (1)				4
情報学群	情報科学類	85 (3) [2]	66 (3) [2]	15	14		1				4
	情報メディア創成学類	62 (9) [2]	39 (2)	15 (6) [1]	15 (6) [1]						8 (1) [1]
	知識情報・図書館学類	101 (55) [2] 〈1〉	26 (8) [1]	65 (42) [1] 〈1〉	49 (28) [1] 〈1〉	1 (1)	14 (12)	1 (1)			10 (5)
医学群	医学類	145 (53)	1						143 (53)		1
	看護学類	86 (80) [2] 〈1〉	10 (10)	69 (64) [2] 〈1〉	52 (48) [2] 〈1〉	5 (5)	12 (11)				7 (6)
	医療科学類	36 (26)	25 (16)	11 (10)	10 (9)		1 (1)				
体育専門学群		243 (68)	60 (22)	152 (38)	132 (34)	10 (2)	10 (2)				31 (8)
芸術専門学群		105 (87) [3] 〈2〉	32 (24) [1]	54 (47)	49 (43)	1 (1)	3 (3)	1		2 (2) [1] 〈1〉	17 (14) [1] 〈1〉
学群合計		2,286 (953) [86] 〈45〉	989 (309) [34] 〈11〉	931 (496) [14] 〈9〉	756 (403) [13] 〈8〉	49 (20) [1] 〈1〉	113 (67)	13 (6)	143 (53)	3 (3) [1] 〈1〉	220 (92) [37] 〈24〉

大学院

	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳				研究員	博士特別研究員	その他			
				企業	教員	公務員	独法等			職務復帰	帰国	研究生等・留学	資格・試験等準備等
教育	5 (3)	2 (2)	2 (1)	1		1 (1)							1
人文社会科学（修士課程）	2 (2) [2] 〈2〉	1 (1) [1] 〈1〉									1 (1) [1] 〈1〉		
人文社会科学（博士前期課程）	14 (10) [8] 〈7〉	4 (2) [1] 〈1〉	5 (4) [2] 〈2〉	5 (4) [2] 〈2〉						1 (1) [1] 〈1〉	4 (3) [4] 〈3〉		
ビジネス科学（博士前期課程）	6 (3)	1								5 (3)			
ビジネス科学（専門職学位課程）	7 (4)									7 (4)			
数理物質科学（博士前期課程）	16 (1) [5]	2 [1]	9 (1) [1]	8 (1) [1]		1					3 [3]		2
システム情報工学（博士前期課程）	27 (9) [8] 〈6〉	5 (1) [2] 〈1〉	17 (6) [4] 〈3〉	16 (6) [4] 〈3〉		1					2 (2) [2] 〈2〉		3
生命環境科学（博士前期課程）	47 (24) [34] 〈18〉	7 (3) [5] 〈2〉	10 (5) [1] 〈1〉	9 (5) [1] 〈1〉	1					20 (9) [20] 〈9〉	7 (5) [7] 〈5〉		3 (2) [1] 〈1〉
人間総合科学（修士課程）	18 (12) [15] 〈9〉	2 (1) [2] 〈1〉	10 (7) [8] 〈5〉	7 (5) [5] 〈3〉		2 (1) [2] 〈1〉	1 (1) [1] 〈1〉			1 (1)	4 (3) [4] 〈3〉		1 [1]
人間総合科学（博士前期課程）	49 (21) [4] 〈2〉	6	18 (9)	15 (8)	1	2 (1)				13 (7)	4 (2) [4] 〈2〉	1	7 (3)
図書館情報ﾒﾃﾞｨｱ（博士前期課程）	7 (2) [2]	1	3 (1)	3 (1)						1 (1)	2 [2]		
グローバル教育院（博士前期課程）													
博士前期・修士合計	1,812 (647) [455] 〈235〉	265 (97) [113] 〈50〉	1,101 (340) [145] 〈66〉	944 (278) [137] 〈60〉	85 (31) [2] 〈2〉	55 (24) [2] 〈1〉	17 (7) [4] 〈3〉	4 (1) [1]		204 (82) [29] 〈14〉	134 (83) [134] 〈83〉	5 (1) [2] 〈1〉	99 (43) [31] 〈21〉
博士後期合計	456 (146) [142] 〈66〉		145 (44) [40] 〈17〉	91 (25) [24] 〈11〉	32 (12) [11] 〈5〉	6 (3) [2]	16 (4) [3] 〈1〉	71 (28) [34] 〈14〉	13 (6) [7] 〈2〉	162 (40) [14] 〈9〉	37 (20) [36] 〈19〉		28 (8) [11] 〈5〉

（注）（　）内は、女子を内数で示す　[　]は、留学生を内数で示す　〈　〉は留学生のうち女子を内数で示す　グローバル教育院は少人数のため表は省略しているが総数に含む

医師国家試験

第116回（令和３年度実施）医師国家試験の状況

試験日	受験者（人）	合格者（人）	合格率	備考
令和4年2月5日から令和4年2月6日	145	144	99.3%	今年度卒業者
	3	3	100.0%	過年度卒業者
合計	148	147	99.3%	

採用企業ランキング

順位	企業名	人数	順位	企業名	人数
1	ヤフー株式会社	16	7	パナソニック株式会社	10
1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（NTTデータ）	16	8	NECソリューションイノベータ株式会	9
3	日本電気株式会社	15	8	ソフトバンク株式会社	9
4	ルネサスエレクトロニクス株式会社	13	8	株式会社日立製作所	9
5	アクセンチュア株式会社	12	8	富士通株式会社	9
6	楽天グループ株式会社	11			

Editors'2022

今年１年、『紫峰の風』の編集に携わったことにより、コロナウイルスの影響で止まっていた各行事が徐々に動き出していく様子を身近に感じることができました。また、寄稿依頼のやりとりを通して、各サークルの活動の様子を知ることができたのも貴重な体験になりました。コロナ禍という特殊な状況下で『紫峰の風』に携わり、新たな視点で筑波大学を見ることができた気がします。このように発行に関わる貴重な機会を頂けたこと、この場を借りて感謝申し上げます。　（文サ連広報局長　冨田寛人・工学システム学類2年）

気付けば次号が任期最終回となり、あっという間だったと感じるとともに、楽しかったと感じています。スポーツデーや宿舎祭の取材に行ったり、大学に関する様々な方面のニュースを知ったり、芸術系サークルの方々から素敵なサークルの紹介文や作品の写真を送って頂いたり、『紫峰の風』製作を通じて大学にある色々な世界を見ることができました。また、紫峰会業務推進室の職員さんと広報部会の皆さん、いつも温かくこまやかなご指導ありがとうございました。　（芸サ連広報局長　佐藤祐人・人文学類３年）

『紫峰の風』製作での思い出といえば、スポーツ・デーの写真撮影です。

腕章をつけて、ごついカメラを持って、ムキムキのスポーツマンたちを撮りまくるのはなかなかできない経験です。カメラのおかげでいつもよりも積極的になれた気がしました。

自分が担当した原稿や記事が多くの人の目に触れることに不安と緊張と少しのやりがいを感じながら制作にかかわらせていただきました。この１年、多くの方々に助けてもらい、というか頼りすぎていました。すみませんでした。ありがとうございました。

（芸サ連広報局員　谷口萌香・芸術専門学群２年）

体育会執行委員会の広報局長として、『紫峰の風』の編集に携わりました。筑波大の多様な体育会の活動を知っていく中で、それぞれの団体の魅力、個性に気づくことができ、とても貴重な体験となりました。

編集委員の方々に支えていただいたことで、このような経験をすることができました。『紫峰の風』が、筑波大学の魅力を知るためのきっかけとなることを願っています。ありがとうございました。　（体育会広報局長　石橋宗志・生物資源学類２年）

『紫峰の風』の編集に１年間携わり、筑波大学の行事や各団体の活動に興味を持って過ごすことができました。今まで「パソコンで授業を受ける場所」であった筑波大学の様々な面を知ることができ、以前よりも大学を身近に感じます。この広報誌を読んだ方にも筑波大学に親しみを持っていただけたなら幸いです。

慣れない作業でしたが、協力してくださった皆様ありがとうございました。　（体育会医学広報局長　青木美成・医学類２年）

学生広報会議の一員として『紫峰の風』製作に関わって早くも１年が経過しようとしています。普段から全代会広報委員会の一員として広報誌製作を行っていますが、両者の製作にかかわって多くの違いを感じました。『紫峰の風』の良さは筑波大学全体を俯瞰することの出来る紙面に対する圧倒的記事量であると思います。読んでくださる方々に「筑波大の今」をお届けすることができれば幸いです。この１年間微力ではあったものの貢献させてもらえたことに感謝します。

（全代会広報委員　江波戸憧音・情報メディア創成学類２年）

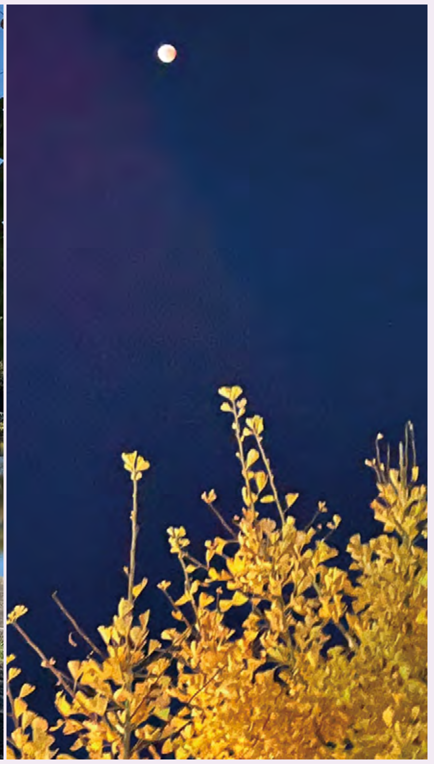
おおよそ1年のあいだ『紫峰の風』の企画、取材、編集作業などに携わる中で、これまで知らなかった筑波大学の一面を知ることができました。また、保護者の皆様に筑波大学での学生生活の様子を伝えるお手伝いができたことを嬉しく思います。これから先も、読者の一人として、冊子を手に取って楽しく読ませていただきたいです。

（全代会広報委員　宮西眞杏・障害科学類2年）

大学の風景

秋の道

松見上池前の昼休みの光景



桐葉橋から見上げた皆既月食

学生相談室から

総合相談窓口　029-853-8430
学生相談受付　029-853-2415

子どもの自立を見守ること

人間系　助教　田中 崇恵

「子どもが何を考えているのかわからない」「子どもとどのように付き合っていけばよいのか迷ってしまう」。これまで学生相談やその他のカウンセリングの場でお会いしてきた大学生の保護者の方から、たびび耳にしてきた言葉です。実際に相談したことはないけれど、そんな風に考えたことのある保護者の方も少なからずいらっしゃると思います。

大学生になると高校生のときよりも行動範囲や人間関係も広範になり、また家族よりも友人や恋人などと話しをする時間が増え、家族としては自分の子どもが普段どんな生活をしているのか、どんなことを考えているのか知る機会も少なくなっていきます。さらに一人暮らしを始めて実家を出るとなるとなおさらです。これは成長過程において生じる自然なことですが、保護者の方からすると寂しく思ったり、心配になったりする気持ちが沸き起こってくるかもしれません。

青年期は保護者から自立していく過程＝「psychological weaning心理的離乳」（Hollingworth,1928）が生じる時期と言われます。精神的に自立をしていく時期であり、保護者から独立したいという気持ちも大きくなります。その半面、経済的には保護者に頼らなければならないという状況にある場合も多く、自立と甘えの葛藤を抱えることにもなります。そのような中、うまく気持ちを処理できず、保護者に対して反抗的な態度やそっけない反応をする学生もいることでしょう。この時期、親子関係がぎくしゃくしてしまう、今まで何の問題もなかったのに突然うまくいかなくなるといったことも起こります。時にそれは引きこもりがちになるとか、授業や課外活動に積極的に参加できなくなるとかそういう形でも現れることがあります（もちろん親子関係以外の要因もあります）。そういう学生さんの相談にのっていると、今までなんとなく選んできた道について、本当にそれがやりたいことなのか自分自身に問い、一人の人間として主体的に生きていこうという課題にぶつかっているのだなと感じます。そのときに、保護者からの自立という課題も大きく関わっているように思われます。

最終的に子どもが自立していくためには、やはりその基盤に家族や保護者との信頼関係があることが大事です。特に青年期後期にあたっては親は親、子は子として個別の人間でありながら「対等な親子関係」になっていくことも指摘されます（落合・佐藤，1996）。きちんと自立するためには、きちんと心理的につながって互いに個別の存在として信頼していることが大切なようです。いつもつきっきりでいるわけではないけれど、本当に困ったときには心置きなく相談できる、そして子どもが自分で決断することを信じて見守る。このような程よい距離感の関係が持てるといいですね。それでも心配するのが親心というものでしょうが…。

また実際にお子さまに関して、あるいはお子さまとのご関係についてお困りごとがある際にはいつでも大学の相談窓口をご利用ください。

紫峰会基金より

令和３年度　紫峰会基金援助金支給報告

令和4年6月28日に開催された紫峰会基金運営委員会にて、令和３年度の紫峰会基金援助金の支給について報告されました。概要は次のとおりです。

援助金項目	金額（円）
課外教育行事援助金	1,008,000
課外活動団体援助金	21,300,000
特別援助金（１団体）	86,500
組織助成金 育成指導補助給付 記念品特別支給	23,301
合　計	**22,417,801**

LINE 公式アカウント　筑波大学通信
在学生の保護者向けの情報をお届け！
友だち→友だち追加→QR コードを選択し、カメラで右の QR コードを読み込む

筑波大学紫峰会基金WEBサイト
https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihoukai/

紫峰の風送付先変更の連絡はこちら
E-mail : renkei@un.tsukuba.ac.jp　電話 : 029-853-2030
本号について、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

紫峰の風　第26号　2022年12月発行
発行　事業開発推進室
編集　学生部学生生活課
学生広報会議
（江波戸憧音・創成2年、宮西眞杏・障害2年、冨田寛人・エシス2年、桑澤玄・情報4年、佐藤祐人・人文3年、谷口萌香・芸専2年、石橋宗志・資源2年、青木美成・医学3年）
学生広報部会
（河原井かれん・人間総合群芸術P1年、高見沢仙美・数物群マテリアルP1年、村松真緒・社会4年、小林桃子・比文3年）
タイトルロゴデザイン　塚本真理（芸専2016年度卒）
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1−1−1
電話：029-853-5886　E-mail：gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

芸術系サークルを見に行こう！

芸術の秋ですね♪筑波大学には30の大学公認の芸術系サークルがあり、年間を通してさまざまな発表会が行われています。今回は、各サークルから自慢のイベントを紹介してもらいました！気になる団体・イベントはぜひチェックしてみてください！

※掲載されていないサークルもあります。ご了承ください。
※次回開催日が決定しているイベントは日程を掲載しています。

1月

写真部　学外写真展

つくば市民ギャラリー

部員たちが撮った写真を集めてギャラリーで展示します。今年は通常の展示のほかに、テーマを決めた展示も行いました。

ブロックフレーテ同好会　定期演奏会

アルスホール

15cmほどのポケットサイズのものから全長170cmの大きなものまでさまざまなリコーダーを使い、ご来場いただくみなさんがリコーダーの新しい一面を発見できるようなひと時を目指しています。

2月

筑波大学ジャズ楽団 Neopolis BIGBAND　Neopolis BIGBAND the 6th Recital

2023年2月25日・ノバ大ホール

今年のリサイタルでは、誰もが一度は聴いたことのあるジャズの名曲から、華やかなボーカル曲、さらにはジャズワルツまで、様々なジャンルの曲を演奏します。実に3年ぶりとなるリサイタル、アツい演奏に乞うご期待！

アカペラサークル Doo-Wop　冬ライブ

2023年2月26日・つくばカピオ

オーディションを勝ち抜いたDoo-Wopを代表する数バンドがカピオに歌声を響かせる、サークルの一大イベントです。ご来場お待ちしています。

3月

劇団筑波小劇場　卒業公演

筑波大学構内

卒業公演は年数回の定期公演の中でも特に力が入る公演です。卒業生が未練を残さぬよう自由に舞台上で暴れ回るので、舞台照明や小道具に大道具など、様々な要素が超豪華仕様になります。是非お越しください！

邦楽部　3月定期演奏会

アルスホール

卒業の時期に毎年行われる演奏会で、4年生の最後の演奏機会です。昨年は新型コロナウイルスの影響でなかなか演奏会が開けなかったのですが、制限はありながらも、久しぶりに有観客で開催できた演奏会でした。

4月

ときめき太鼓塾　新歓コンサート、体験会

練習場所など

新歓期は主に練習場所や大学構内でミニコンサートや体験会を行います。和太鼓を間近で楽しむことができます。

5月

E.L.L.(筑波軽音楽協会)　やどかり祭前夜祭 LIVE（宿舎祭）

平砂宿舎テニスコート

前夜祭では5つの軽音サークルから代表的なバンドが出演します。E.L.L.は5サークルの代表として委員との調整を行ったり音響の機材を提供しています。もちろんかっこいいライブパフォーマンスも必見です。

管弦楽団　定期演奏会

ノバホール

管弦楽団は年に2回（春と秋）の定期演奏会を行っております。プロの指揮者をお呼びして総勢80名程度の大所帯で演奏会を創り上げています！

6月

筑波大学吹奏楽団　定期演奏会

2022年12月18日・ノバホール

筑波大学吹奏楽団では主に6月と12月に定期演奏会を開催しています。メインイベントとなる定期演奏会で、お客様により良い演奏をお届けできるよう日々努力しています。

7月

ジャグリングサークル Sheep　羊杯

武道館

羊杯は本サークル内でのお楽しみ会のようなイベントです！バルーンアートではチームごとに、想像力豊かな作品を作ります。ジャグリングでは練習の成果を演技として見せることで、成長を実感することができます。

フォルクローレ愛好会　夏季コンサート

アルスホール

お客様との距離の近さが自慢の演奏会です！フォルクローレや楽器に関する解説やお話も挟みながら、中南米民俗音楽の世界をお楽しみいただけます。

8月

ピアノ愛好会　サマーコンサート

2023年8月11日・ノバホール

多くのメンバーたちが日頃の練習の成果を披露する大規模なコンサートです。ホールに響くグランドピアノの美しい音色、個性豊かなメンバーたちの演奏を、ぜひお楽しみください！

9月

ミュージカル集団 ESSASSA　定期公演

筑波大学5C316教室

9月13日にミュージカル集団ESSASSA第51回公演を行いました！こちらは演目のフィナーレを飾る、総勢16人のキャスト全員での迫力あるダンスナンバーでの1コマ。ラストシーンということもあり、キャストの表情も晴れ晴れとしています！

10月

落語研究会　且座珈琲寄席（さざこーひーよせ）

サザコーヒー筑波大学アリアンサ店

サザコーヒーで寄席を定期的に開催させていただいています。「笑顔は万病の薬！コロナ禍で笑って免疫を高めよう」という思いから始まりました。ドリンクやケーキを楽しみながら、周りを気にせず大笑いしてみませんか？

11月

能・狂言研究会　雙峰祭での発表

今年はUNITEDステージで発表しました！

今年の学園祭の狂言方の舞台では、今年狂言を始めた新人たちが初舞台に立ちました。待望の新人が入ってくれたこともあり、コロナ禍を乗り越え、活気のある活動ができています。

JAZZ 愛好会　JAZZ 喫茶 FULL HOUSE

筑波大学5C317教室

毎年雙峰祭にて出店している喫茶型のイベントで、ゆったりとジャズの演奏を聴きながらお食事を楽しんでいただくことができました。

12月

ギター・マンドリン部　定期演奏会

2022年12月17日・つくばカピオ

部員全員による合奏から少人数によるアンサンブルまで、さまざまな形態の演奏を披露します。ジャンルもマンドリンオリジナル曲だけでなくクラシックやJ-popなど部員の弾きたいものを演奏します。

混声合唱団　定期演奏会

2022年12月10日・ノバホール

筑波大学混声合唱団では、年に一度定期演奏会を開催しています。12月、ノバホールにお越しいただき、1年をかけて磨いてきた私たちの音楽をぜひ味わっていただきたいです。

芸術系サークル連合会活動紹介

つくばフォーク村

定期ライブの様子 2022年9月25日撮影

つくばフォーク村では、初心者から経験者まで、誰もが自由に楽しく軽音をしています！J-popはもちろん、洋楽やアニソン、ボカロなど音楽のジャンルは多岐に渡り、中にはオリジナルバンドで活動している人たちもいます。

普段の活動は、毎週火・金（18:30〜21:00）に文サ館3階A室にて行われるミーティングと、それと同時に行われる村唄（皆で円になり弾き語りをする活動）です。イベントはほぼ月一で開催される定期ライブに加え、新歓期の石の広場、宿舎祭、雙峰祭などです。最近は外部から演奏依頼が来ることもあります。

それぞれが音楽を楽しみつつ、最高のステージを作り上げようと日々練習に励んでおりますので、是非一度お越しください！そしてとてもあたたかい、まさに"村"の雰囲気を是非感じてみてください！

（寄稿／つくばフォーク村村長　中村賢志郎・化学類3年）

フォルクローレ愛好会

第34回定期コンサートでの演奏の様子 2022年3月21日撮影

フォルクローレとはボリビアやペルーなどの中南米の民俗音楽のことを指します。「民俗」音楽とは大衆文化の音楽であり、中南米各地の伝統的な音楽やダンス、楽器が西洋の音楽文化と融合し、日本でも幅広い世代に長く愛されてきました。私たち筑波大学フォルクローレ愛好会は、このフォルクローレの演奏を通じた中南米文化の紹介や、大学間・地域間での文化交流を目指しています。

週2回の活動に加え、コンサートやイベント前にはメンバーが自主的に集まって練習する形での活動です。3月・7月のコンサートや雙峰祭だけでなく、茨城県を中心に依頼を受けて各種イベントでの演奏も行っています。演奏の模様は公式YouTubeチャンネルでも配信しておりますので、ぜひご覧ください！

（寄稿／フォルクローレ愛好会会長　佐藤美涼・教育学類3年）

ミュージカル集団ESSASSA

第51回公演 フィナーレを飾るキャスト全員でのダンスナンバーでの1コマ 2022年9月13日撮影

私たちミュージカル集団ESSASSAは「心に響くミュージカル」を目指し、日々練習しています！活動日は、自分の都合が良い日を選んで参加するシフト制。基本的に大学内の教室をお借りして練習しています。

ESSASSAでは年に2〜3回、教室に舞台を建てて公演を行っています。既存の人気作からオリジナル作品まで、幅広い演目を扱っています。

また、スタッフワークにも深く携わることができるのがESSASSAの特徴です！演出・制作・舞台監督・舞台美術・音響・照明・歌唱・振付・演技指導・小道具・衣装メイク・宣伝美術・広報・記録の14の役職の中から興味があるものを選び、学業や練習の合間に取り組んでいます。

来年の3月には2022年度卒業公演の開催を予定しています。歌・ダンス・演技はもちろん、豪華な舞台・素敵な衣装など、ぜひESSASSAの魅力を味わいにいらしてください！

（寄稿／ミュージカル集団ESSASSA座長　小山田琴美・障害科学類3年）

落語研究会

新歓落語会にて 2022年5月21日撮影

皆様、落語研究会の活動紹介をお読みいただき誠にありがとうございます。落語研究会では、大きく分けて二つの活動をしています。一つ目が寄席です。寄席の中にも、本研究会が企画・開催する落語会と、外部から依頼をいただいて出張で落語を行う余興の2種類あります。そして二つ目がミーティングと稽古会です。ミーティングでは、新会員の高座名を決めたり、落語をビデオで見たりします。また稽古会では、落語会や余興に備え、演者の演じ方を会員でチェックし、良い所・改善すべきところを本人に伝えるようにしています。最後に宣伝です。余興として、学内のサザコーヒーで定期的に寄席を開いています。また、11月の雙峰祭では会員一同で落語を披露させていただきました。

（寄稿／落語研究会会長　天野隼太・比較文化学類3年）

体育会活動紹介

アメリカンフットボール部

秋季リーグ第1節国士舘戦でボールをキャリーするRB（ランニングバック）の様子 2022年9月10日撮影

私たちアメリカンフットボール部は関東学生アメリカンフットボールリーグで昨年度15年ぶりの一部昇格をし、今年度は一部残留を目標に活動しています。

近年は新型コロナウイルスの影響により思うように活動ができず、部員数も少ない中ですが、今の部に適した練習の方法を日々模索してきました。昨年度からは特にスカウティングや広報活動にも力を入れ、フィジカルだけではなく戦略面でも勝利を掴めるよう努めています。現在は毎日のビデオを細かく振り返り、基礎的な技術、戦略について反省することで、部員数が少ない中で主力となる可能性が高い下級生にもいち早く力をつけられる練習を心がけて行っております。

厳しい戦いが続いていますが、多くの方々に支えられ、ここまで来ることができたことに感謝し、先輩方が築いてくださった一部という舞台で精一杯戦っていきたいと思います。応援のほどよろしくお願いいたします。

（寄稿／アメリカンフットボール部主務　須貝麻央・生物学類4年）

男子ハンドボール部

春リーグでの集合写真 2022年5月23日撮影

今年度、男子ハンドボール部では約3年ぶりの春季リーグ戦に備えてチームが代替わりしてから合宿などを行い、チームとしての団結力やハンドボールの技術的な部分の上達を行っていました。春季リーグ戦では厳しい試合をチーム力で乗り切り、優勝することができました。コロナウイルスが猛威を振るい、2年間春季リーグ戦が行えない中でも必死に努力していた先輩方に恩返しができたと思い、とても嬉しい気持ちでした。夏季にはさらにチームとしての強さや個々の技術力向上に全員がよく取り組めていたと思います。秋季リーグでは詰めの甘さや他大学も力をつけてきていることを再認識させられる良い大会になったと思います。これからは全日本インカレ、日本選手権とチームとしての集大成となる大会が待っています。我々のテーマである「わくわく」をチームの中でも見ている人にも感じてもらえるように活動していきます。

（寄稿／男子ハンドボール部主将　佐藤陽太・体育専門学群4年）

男子バスケットボール部

リーグ戦の様子 2022年9月9日撮影

私たち男子バスケットボール部は、3年ぶりのタイトル獲得を目指し、チーム一丸となって戦うという意味を込めて「UNITE」というスローガンを掲げ、2022シーズンの活動をスタートしました。今季前半、Aチームは春トーナメント4位、関東新人4位、新人インカレ予選敗退と思うような結果を残せませんでしたが、Bチームは関東甲信越大会で優勝を飾ることができました。8月からはリーグ戦が始まり、10月には3年ぶりのホームゲームが開催され、コロナにより制限はありましたが、無事成功を収められました。シーズンも終盤に差し掛かり、集大成となるインカレでは優勝できるよう、残り少ない期間ではありますが、強度の高い練習に取り組んで参ります。

（寄稿／男子バスケットボール部主務　上原紗帆・社会学類4年）

陸上競技部

天皇賜盃第91 回日本学生陸上競技対校選手権大会 閉会式後の出場者集合写真 2022年9月11日撮影

陸上競技部は、インカレでの男女総合優勝をチーム目標に掲げ、日々活動しています。インカレにおいて得点で貢献できるのは、一部の出場者の、その中の更に一部の入賞者のみですが、サポートや応援、運営など、様々な形で部員全員がインカレに臨みます。今年度のインカレは3年ぶりの有観客開催で、チームとしても久しぶりの全体応援となりました。結果は両インカレとも、男子3位、女子準優勝と、目標には届きませんでしたが、チームの総合力を示すことはできたと感じています。

多くの皆さまの支えのおかげで、選手として、サポーターとして、運営陣としてなど、複数の立場に立ち、試行錯誤しながら二兎三兎を追うことに挑戦できています。このような恵まれた環境に感謝し、これからも尽力してまいります。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

（寄稿／陸上競技部主事　伊藤鴻児・体育専門学群4年）

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議活動紹介

活　　動　　報　　告

〇学長と全代会構成員との懇談会

　6月9日に学長と全代会構成員との懇談会が行われました。昨年度は感染症対策もあり小規模かつ簡潔な懇談会となってしまいました。しかし、今年度は食堂を会場とし、より広いスペースを確保して例年通りの規模で開会することができました。

　会は加賀信広学生生活支援室長の司会のもと、永田恭介学長の挨拶で始まりました。続いて、河野美羽全代会議長及び各委員会委員長から今年度の活動方針等について報告しました。学生の課外活動の推進、業務の効率化を実現するために教室申請のオンライン化を進めていくことや、全代会の認知度向上のために広報活動に注力していくこと、これまで以上に委員会同士の連携を強化していくことなどの報告を行いました。その後には、学長・副学長等から、留学生のためのチューター制度の改善、創基151年開学50周年記念企画などについての話題提供があり、それらに関して学生と教職員の間で活発に意見交換を行うことができました。

〇第４回本会議

　７月20日に第４回本会議が行われ、各学類等の代表である座長団が集まって議題について話し合いました。今回の議題は主に３つで、「TWINS改善の要望」と「国際特別委員会設立の要請」、「企画・戦略特別委員会設立の要請」について取り扱いました。

　１つ目は全代会にTWINSが使いづらいとの意見が複数寄せられたため、TWINSの利用状況に関する調査を全代会から全学類生を対象に行いました。その結果、自己判定の機能、履修機能、掲示板機能に関する意見が多数寄せられ、それらの意見をもとに来年度に実施されるTWINSのアップデートに向けて要望をまとめました。

　2、３つ目は新たな特別委員会を設立し、一時的に発生している諸問題解決に向けて活動できるようにするために取り組むものです。

　今回の３つの議題はいずれも本会議にて承認され、全代会議長団から学生生活課を通して大学に伝えられました。全代会としても、今回議題に挙がったような学生の利益のために今後も活動を続けていきたいと考えています。

〇これまでの活動を通して

　今年度は新歓祭や宿舎祭の開催、秋学期の対面授業の増加など、対面での活動が少しずつ増えていきました。しかし新型コロナウイルス感染症は終息しておらず、直前での活動の開催形態変更を余儀なくされるなど、柔軟な対応を求められたのも事実です。対面活動の全学的な増加によって、全代会の役割や広報委員会の業務内容も少しずつではありますが変化していったように感じます。今までオンラインのみで行なってきた全代会活動がオンライン対面併用で行われるようになり、各委員会活動が活発になりました。また新たな課題の解決に向けて特別委員会も複数設立され、話し合いを重ね活発に活動しています。

　色々と変化の多いご時世ですが、より良い学生生活に向けて尽力していこうと思いますので、皆様どうぞよろしくお願いします。

（寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議
広報委員会委員長　江波戸憧音・情報メディア創成学類２年）

国　際　特　別　委　員　会

　国際特別委員会は、今年の7月に設立された特別委員会です。

　特別委員会とは、対応すべき課題に対して特別に設立される委員会です。この委員会は、留学生関係の諸問題の解決、留学生の意見の収集、全代会の国際化などを目的として活動しています。

　現在取り組んでいる問題の一つに、留学生がサークルへ参加しにくくなっているということがあります。そして、その原因にはサークル紹介誌が手に入れづらく、また外国語に十分に対応できていないことや留学生に向けてサークルを紹介するイベントが少ないことなどにより、情報を手に入れられない現状があります。そこで、この問題を解決するための最初の活動として、秋の入学式直後に大学会館で留学生向けのサークル新歓イベント「Tsuku・Koi」を開催しました。約20団体のサークル、部活等がブースを出し、来日した約200人の留学生に対し活動紹介を行いました。

　今後は「Tsuku・Koi」の参加サークルを増やし、イベントの内容を充実させるとともに、留学生との意見交換会を開こうと考えています。

　コロナ禍により留学生の来日が厳しい状況になっていましたが、規制が緩和され、留学生が増えるため、今まで見えていなかった問題が発生することが考えられます。今後も様々な人との対話を通して、留学生もより過ごしやすい筑波大学にするため尽力いたします。

（寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議
国際特別委員会委員長　山口毅人・応用理工学類２年）

企　画　・　戦　略　特　別　委　員　会

　弊委員会では名前の通り、全代会の戦略と企画を立案することを目的としています。全代会では年々の課題として、全代会の認知不足や、内在的かつ長期的な問題を解決できない状況であることが挙げられます。また、これに伴い全代会自体の人材不足も相まって、流れてきた案件や諸問題を解決する受け身的な組織からの脱却ができていません。学生の利益を追求し、筑波大学と筑波大生をよりよいものにするためにリードする学生自治組織となるには、対外的かつ主体的な働きかけは欠かせません。今全代会がこういった問題をかかえている原因は、長期的な運営方針の欠如と引継ぎの形骸化であると考えています。１年で代替わりをする組織のため、年度が替わるごとに固めていた方針や方策が白紙に戻ることがほとんどです。これは２年半全代会に在籍し、１年間の副議長を務めた私が実感するところです。そのため、長期的な計画と方針を立案し、世代を通じて実行していける新たな組織像を構築する場としてこの特別委員会を設立しました。

　具体的にこの特別委員会では、名前の通り「戦略」と「企画」の立案を行っています。まず隔週程度の会議において、様々な常任委員会に属する委員たちと全代会の戦略方針を固めます。様々な分野、経験からの視点と大学の方針や情勢などから意見を出し合っています。その後、決めた戦略方針を実現するための具体的な企画を立ち上げ、全代会の中枢に提案をします。現在は学生組織体制の見直しや全代会の広報を主軸に据え、学則の改定などの具体的施策を進めています。

　５年、10年先まで見通しをたて、筑波大学の代名詞となり得る自治組織を目指し活動に尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（寄稿／企画・戦力特別委員会委員長　佐藤翔哉・物理学類3年）

文化系サークル連合会活動紹介

池坊華道部

春学期最後のお稽古 2022年7月28日撮影

　池坊華道部は毎週木曜日に文化系サークル館で活動しています。

　時間が合うときに来てゆったりとした空間でお花を活ける、日々の忙しさから一瞬でも解放され心が落ち着く場であるようにと思っております。

　活動では、お花屋さんセレクトの季節に合った3、4種類と部所有の様々な色味や形をした器を使って、部員１人１人が思うままに活けています。様々な場面で講師の先生がアドバイスをくれるので、新しい技術とより良い魅せ方を楽しく知れます。講師の先生や部員同士で気兼ねなく話ができる点、そして活けた作品を鑑賞し合うことで様々な活け方やテクニックを知れる点も魅力です。

　最後になりますが、これをきっかけに興味を持ってくれた方がいたら嬉しいです。随時体験も行っているので、各種SNSからお気軽にご連絡ください。

（寄稿／池坊華道部部長　熊谷菜々恵・医療科学類２年）

野生動物研究会

奄美大島でヘビの撮影をする部員 2022年9月7日撮影

　私たち野生動物研究会（通称：やどけん）では、主に野生動物の採集・観察等の個々人が行う活動や、毎週水曜日に文化系サークル会館に集まって活動報告や情報交換をするミーティングを行っています。ミーティングはzoomでも行われるのでオンラインでも参加することができます。また、春と夏の合宿で南西諸島へ行ったり年二回のフォトコンテストを開催したりしています。

　やどけんのメンバーには多種多様な生き物好きがたくさんいます。野生動物研究会では生き物が好きな人々に囲まれ活動することで自分の知らなかった生き物の新たな知見を得ることができ、お互いがお互いの知的好奇心をくすぐるような刺激的な体験ができます。

（寄稿／野生動物研究会会長　来間太郎・生物学類３年）

野外活動クラブ

筑波山登山 2022年5月1日撮影

　私たち野外活動クラブは毎週金曜日に体育・芸術エリアの5C棟にて、活動の報告・連絡をする例会を行っております。また、定期的なキャンプや旅行などのさまざまなイベントやスポーツ・デーの参加などに加え、メンバー考案の活動などを行っております。定期的に行うキャンプは、テントでの宿泊だけでなくコテージも利用するので、気軽に参加することができます。メンバーは1年生から３年生が所属していますが、在学OBOGもほとんどの人が参加しています。そのため、さまざまな人と関わることが可能です。

　新型コロナウイルスの影響で全ての活動を行うことはできていませんが、少しずつ再開できる活動が増えてきました。引き続き感染に注意しながら、たくさんの活動を行っていきたいと思います。

（寄稿／野外活動クラブ部長　井福晟史・社会工学類３年）

TOJO　K-ON

10月ライブ 2022年10月9日撮影

　TOJO　K-ONでは、毎月一回のペースで軽音楽のライブを行っています。そこでは王道の邦ロック、インディーズバンド、ガレージ、ハードロック、メタル、パンク、ニューウェーブ、シューゲイザー、ミクスチャー、オルタナ、パワーポップ、ヒップホップ、インストから鉄板のJ-POPまで、様々な音楽が演奏されます。ここまで幅広い音楽が演奏されているサークルは、いくら筑波大学広しと言えどこのサークルだけでしょう！部員の音楽の楽しみ方も様々で、エンジョイ勢から音楽にうるさい熱血漢、朝から晩まで練習室に籠る修行僧、ライブハウスに入り浸るライブ狂い、誰も知らないインディーズバンドを発掘することを至上の喜びとする早耳主義者、機材を買い漁るオタク君も！音楽の楽しみ方がこれほどまで幅広いということを知れるのも、TOJO　K-ONの特徴と言えるでしょう。

（寄稿／TOJO K-ON代表 中島達希・日本語・日本文化学類３年）

医学部会紹介

医学卓球部

正規練習(火・木・土曜日)の様子 2022年10月4日撮影

医学卓球部は週3回の正規練習に加えて、有志による朝練等を含めると毎日活動できる環境が整っています。部員のレベルは初級者から上級者まで多くいます。初心者はしっかりと上達するまで上級者が丁寧に指導し、また経験者や上級者は互いにアドバイスをしあい日々スキルアップに励んでいます。練習ではメニューを組んでおり、課題練習やゲーム練習を通して実戦に活かせる経験を積むことができる点も医学卓球部の特徴です。

また医学卓球部は医学系の部活でありながら、医学群以外の学群生が多く所属しています。私たちは総合大学の強みを生かし価値観の異なる多種多様な人たちと関わることで、人間としても成長することを目指して活動しています。

昨年は新型コロナウイルスの影響で活動の制限がありましたが、今では少しずつ緩和され、感染対策をしながらも従来の活動に戻りつつあります。

（寄稿／医学卓球部主務　田中草毅・医学類2年）

医学ソフトテニス部

新人戦　千葉県白子町にて 2022年10月9日撮影

私たち医学ソフトテニス部は、「リーグ昇格」「部活動を通じた人間的成長」を目標として日々活動しております。大学の部活は練習時間が限られていますので、短い時間の中で学業と両立させながらどう成長していくか、ということも考えながら練習に励んでいます。また、スポーツをやるにあたって、技術の向上も重要なことなのですが、部の雰囲気も大事にしており、先輩・後輩関係なく交流をはかっています。部の雰囲気が良くなることによって、部員同士の距離が縮まり、ペアスポーツという観点においてもよい結果をもたらすのではないかと考えています。さらに、私たちの部には医学群生だけでなく、様々な学群・学類の学生が所属しており、狭いコミュニティで完結することなく、幅広い交友関係をつくることができます。また、初心者の方でも先輩が丁寧に教えてくれるのですぐに上手になることができます。今後も部一丸となって頑張っていきます。

（寄稿／医学ソフトテニス部主将　山野尋生・医学類3年）

企画記事　全代会の広報誌『Campus』

全代会について

全代会とは、全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議の略称で、筑波大学の学則で公的に認められた学生組織です。各学類・専門学群および総合学域群の代表者3名が集まって構成し、学内の様々な問題について検討します。扱う問題は教育・厚生・学内行事・大学運営についてなど、非常に多岐に渡ります。全学生の代表として、学生のニーズに根ざした活動を行っています。

広報委員会について

広報委員会は全代会の内部組織として設置されている常任委員会の1つです。常任委員会は広報委員会の他、総務委員会や学内行事委員会など計6つの委員会で構成されています。広報委員会では主に、広報誌『Campus』の作成、全代会公式SNSの運用、他の委員会から依頼を受けた広報物等の作成を行っています。広報物の製作にあたり、広報委員会は編集部と制作部に分かれています。編集部は取材・記事執筆・校正、制作部は表紙・図など誌面のデザインを担当しています。

『Campus』ができるまで

①企画会議

広報委員会全体で誌面で特集する企画会議を行い、特集する内容を選定します。近年は、筑波大学の1つの学類について教授や学生に取材し学類の特色をまとめる学類特集1つと、その他の内容を一般特集として1つ取り上げるという誌面構成であることが多いです。

②記事・レイアウト作成

企画会議が終わると、編集部と制作部に分かれて作業が始まります。編集部では特集する企画が決まると細かい取材先を取り決め、順次取材を行います。取材後、編集部員は執筆に移り、書き上げた記事を他のメンバーに誤字脱字・表現の曖昧さ・内容の整合性等を確認してもらい修正する、朱入れという作業を行います。制作部では編集部と連絡をとりながら誌面のレイアウトと必要な図やイラストを作成していきます。

③読み合わせ・入稿

『Campus』では委員会内読み合わせと教職員読み合わせが行われています。委員会内読み合わせでは朱入れを終えた記事を全てもう一度委員会全体で確認します。この読み合わせを終えた記事を実際に誌面に移し、広報誌として仕上がったデータを学生生活課の方々と確認し印刷業者の方に入稿します。間違ったまま印刷してしまうと訂正することは難しくなってしまうので、誌面を限なくチェックします。

全代会の広報誌『Campus』はこのような手順で4月・10月・1月の年に3回ほど発行しています。全代会のホームページから閲覧することができますので、是非一度覗いてみてはいかがでしょうか。

（全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議　広報委員会委員長　江波戸憧音・情報メディア創成学類2年）

学生の一週間

ここでは、同じ大学院博士前期課程1年生でも所属の異なる学生を例に挙げ、大学院生がどのような生活を送っているのかをご紹介します。学群学類生とは一味違ったスケジュールに注目してみてください。

博士前期課程１年　Sさん 秋学期Aモジュール（10月）

数理物質科学研究群に所属しているSさんは、授業や研究、就職活動や課外活動を通して充実した日々を送っています。土曜日に終日アルバイトがあるため、授業のない火曜日に体を休めています。

<table>
<tr><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr>
<tr><td>6</td><td rowspan="3">睡眠</td><td rowspan="4">睡眠</td><td>睡眠</td><td rowspan="3">睡眠</td><td rowspan="4">睡眠</td><td>睡眠</td><td rowspan="4">睡眠</td></tr>
<tr><td>7</td><td>朝食</td><td>朝食</td></tr>
<tr><td>8</td><td rowspan="2">対面授業</td><td rowspan="11">アルバイト</td></tr>
<tr><td>9</td><td>朝食</td><td>朝食</td></tr>
<tr><td>10</td><td rowspan="2">対面授業</td><td>朝食</td><td>課題</td><td rowspan="2">オンライン授業</td><td>朝食</td><td>朝食</td></tr>
<tr><td>11</td><td rowspan="3">家事など</td><td rowspan="2">研究室</td><td rowspan="2">作業</td><td rowspan="3">自由時間</td></tr>
<tr><td>12</td><td>課題</td><td>課題</td></tr>
<tr><td>13</td><td>昼食</td><td>昼食</td><td>昼食</td><td>昼食</td></tr>
<tr><td>14</td><td rowspan="7">研究室
（論文、勉強など）</td><td>昼食</td><td rowspan="7">研究室</td><td rowspan="3">対面授業</td><td rowspan="5">研究室</td><td>昼食</td></tr>
<tr><td>15</td><td rowspan="3">自由時間</td><td rowspan="5">家事など</td></tr>
<tr><td>16</td></tr>
<tr><td>17</td><td rowspan="4">研究室</td></tr>
<tr><td>18</td><td rowspan="3">作業
（就職活動、課外活動など）</td></tr>
<tr><td>19</td><td rowspan="2">映画</td><td>買い物</td></tr>
<tr><td>20</td><td>夕食</td><td>夕食</td></tr>
<tr><td>21</td><td>夕食</td><td>夕食</td><td>夕食</td><td>夕食</td><td>夕食</td><td rowspan="3">自由時間</td><td rowspan="3">自由時間</td></tr>
<tr><td>22</td><td rowspan="2">自由時間</td><td>自由時間</td><td rowspan="2">自由時間</td><td rowspan="2">自由時間</td><td>自由時間</td></tr>
<tr><td>23</td><td>風呂</td><td>風呂</td></tr>
<tr><td>24</td><td>風呂</td><td rowspan="3">睡眠</td><td>風呂</td><td>風呂</td><td rowspan="3">睡眠</td><td>風呂</td><td>風呂</td></tr>
<tr><td>1</td><td rowspan="2">睡眠</td><td rowspan="2">睡眠</td><td rowspan="2">睡眠</td><td rowspan="2">睡眠</td><td rowspan="2">睡眠</td></tr>
<tr><td>2</td></tr>
</table>

博士前期課程１年　Yさん 秋学期Aモジュール（10月）

人文社会科学研究群に所属しているYさんは、週3回東京の博物館で学芸アルバイトをしながら大学院に通っています。平日はつくばで一人暮らし、週末はアルバイトのため東京の実家に戻る2拠点生活を楽しんでいます。

<table>
<tr><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr>
<tr><td>6</td><td>朝食</td><td rowspan="2">睡眠</td><td rowspan="2">睡眠</td><td rowspan="2">睡眠</td><td rowspan="2">睡眠</td><td>朝食</td><td>朝食</td></tr>
<tr><td>7</td><td rowspan="2">準備・移動</td><td rowspan="2">準備・移動</td><td rowspan="2">準備・移動</td></tr>
<tr><td>8</td><td rowspan="9">自由時間</td><td rowspan="4">自由時間</td><td>朝食</td><td>朝食</td></tr>
<tr><td>9</td><td rowspan="8">博物館バイト</td><td>家事</td><td rowspan="2">準備・移動</td><td rowspan="8">博物館バイト</td><td rowspan="8">博物館バイト</td></tr>
<tr><td>10</td><td rowspan="2">オンライン授業</td></tr>
<tr><td>11</td><td>＊TA 授業</td></tr>
<tr><td>12</td><td rowspan="2">つくばに移動</td><td>昼食</td><td rowspan="3">東京に移動</td></tr>
<tr><td>13</td><td>移動・準備</td></tr>
<tr><td>14</td><td rowspan="2">昼食、家事</td><td>対面授業</td></tr>
<tr><td>15</td><td>移動・準備</td><td rowspan="3">自由時間</td></tr>
<tr><td>16</td><td>対面授業</td><td>＊TA 授業</td></tr>
<tr><td>17</td><td rowspan="2">準備・移動</td><td rowspan="2">風呂、夕食</td><td>移動</td><td>家事</td><td rowspan="2">準備・移動</td><td rowspan="2">準備・移動</td></tr>
<tr><td>18</td><td rowspan="2">風呂、夕食</td><td rowspan="2">風呂、夕食</td><td rowspan="2">風呂、夕食</td></tr>
<tr><td>19</td><td rowspan="2">風呂、夕食</td><td rowspan="2">自習</td><td rowspan="2">風呂、夕食</td><td rowspan="2">風呂、夕食</td></tr>
<tr><td>20</td><td rowspan="2">自習</td><td rowspan="2">自習</td><td rowspan="2">自習</td></tr>
<tr><td>21</td><td rowspan="4">睡眠</td><td rowspan="4">睡眠</td><td rowspan="4">睡眠</td><td rowspan="4">睡眠</td></tr>
<tr><td>22</td><td rowspan="3">睡眠</td><td rowspan="3">睡眠</td><td rowspan="3">睡眠</td></tr>
<tr><td>23</td></tr>
<tr><td>24</td></tr>
</table>

＊ TA はティーチングアシスタントの略